

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1222 号	氏名	福島 真典
学位審査委員		主査	永山 雄二
		副査	小路 武彦
		副査	下川 功
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、非アルコール性脂肪肝炎 (nonalcoholic steatohepatitis, NASH) において、脂肪毒性の主因である飽和脂肪酸と、この飽和脂肪酸から産生されるセラミド、セラミドを主成分とする肝細胞からの細胞外小胞 (exosome)、セラミド輸送タンパクである (StAR-related lipid transfer domain (STARD) 11) の関連を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 上記目的のため、培養細胞を用いた <i>in vitro</i> 実験において、STARD11 ノックダウン細胞を樹立し、exosome の分泌量、細胞内及び exosome 内セラミド量測定などを比較した実験手法は妥当と考える。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、飽和脂肪酸より合成されたセラミドが STARD11 を介して exosome へ運搬されることを示して、exosome 産生に STARD11 が寄与することを見出した。これらの研究成果から、NASH の病態解明のさらなる研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は NASH 研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			